

浜須賀まちのちからニュース

浜須賀まちのちから

浜須賀地区まちのちから協議会
編集会

発行責任者 青木三郎
茅ヶ崎市松が丘2丁目8番63号
浜須賀会館 TEL 0467 (87) 1101

印刷 仲手川印刷

平成28年度 地震・津波防災訓練

世界津波の日、津波防災の日である11月5日（土）
浜須賀地区において、平成28年度地震・津波防災訓練が実施されました。

浜須賀小学校を会場として浜須賀地区まちのちから協議会が内閣府や茅ヶ崎市と協力し、災害時の応急救護訓練や防災講話と合わせて浜須賀地区の防災訓練を行いました。

はじめに、茅ヶ崎市長より普段からの防災訓練の重要性また、一人ひとりの防災意識が大切とのお話がありました。

訓練は、各自主防災組織や消防



茅ヶ崎市長の挨拶

団員、学校関係者など、浜須賀地区から多数のご参加をいただいたほか、国や市の関係機関から内閣府の担当者、陸上自衛隊、気象庁職員、茅ヶ崎警察署職員、市立病院職員、消防職員、拠点配備職員などが一丸となって参加し、非常

に活気のある訓練となりました。

訓練の内容といたしましては、浜須賀小学校グラウンドにて、避難所開設訓練や情報伝達訓練が行われ、特に情報伝達訓練の一環として行われた、「情報のトリアージ（優先して対応すべき情報の選別）であり、現在起きている事象を「地域でとどめる情報」と「地区防災拠点や災害対策本部に届ける情報」に分けることで、その後の行政の迅速な対応につなげるためのもの」については、地域の被

災状況や救援ニーズなどの情報伝達方法の確立が必要とされている今、一人でも多くの参加者の方に、その意味や重要性を理解していただきたいと考えます。その後、会場を体育館へ移動し、気象庁職員による防災講話が行われました。閉会には、朝から浜須賀地区の訓練を見守っておられた河野太郎衆議院議員のご挨拶がありました。また、浜須賀地区まちのちから協議会青木三郎会長より過去の津波の噂に惑わされず情報を冷静に受け止め行動することが大切とのお話がありました。



体育館の様子



グラウンドでの訓練（左上）と体育館の様子

最後は自衛隊による炊き出しのカレーを参加者全員でおいしくいただきました。訓練は終了となりました。

浜須賀地区の自治会長、防災リーダーの協力の元、住民の意識の高さにおいて有意義な訓練になったと感じています。地震や災害の発災直後は、行政としての救助・救護活動など公助の働きが弱まり、地域としての強い連携が不可欠と

なります。今後につきましても、この様な訓練などの機会を捉え、地域における自助・共助の促進や地域と行政の連携強化を図っていきたく考えております。



陸上自衛隊による訓練活動



訓練に参加する多数の住民

浜須賀中学校



前期(終業式10月7日・金)が終わり、まずは、ここまで大きな事件、事故なく過ごすことができたことに大きな喜びを感じています。これも地域の方々、保護者の方々の支えがあつたことと大変感謝しております。

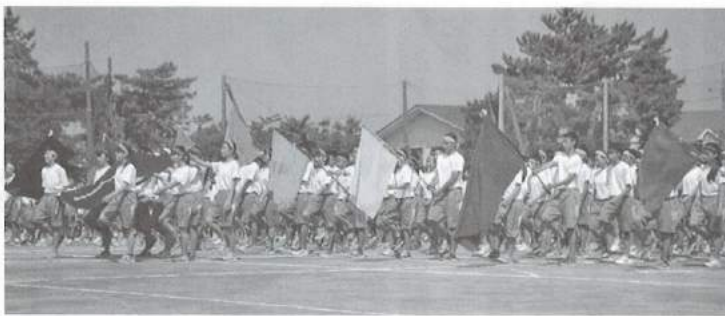
浜中には三行事(体育祭・合唱大会・学習発表会)があり、5



部活動激励会

月21日(土)には体育祭が行われました。雲一つない五月晴れのもと「我信勝担」(臥薪嘗胆のあて字で、自分を信じてクラスの勝利のために貢献しよう)というスローガンを掲げ、若さあふれる演技を披露することができました。

10月18日(火)に合唱大会が終わり、今後は、3月3日(金)に学習発表会を行います。



体育祭入場行進

習発表会を行います。

部活動は運動部14(野球、サッカー、ソフトボール、男子ソフトテニス、陸上男女、バレーボール男女、バスケットボール男女、卓球男女、剣道男女)と文化部5(吹奏楽、弦楽合奏、家庭、新聞、美術)の合わせて19の部活動が元気よく活動しており、夏の大会では、男子バスケット、女子バレー、女子ソフト、卓球、陸上部の5つの部活動が県大会に出場しました。文化部門も、地域行事に数多く参加して、地域との交流を深めています。

今後とも温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

なお、今年度の卒業式は3月10日(金)に決定しましたのでお知らせします。

浜須賀小学校



平成28年度の挑戦

新聞等の報道でご存じのとおり、平成30年度から日本の教育が大きく変わります。各学校は、グローバル化する世界の動きに対応できる人材を育成するために、知識や情報を蓄積するだけでなく、それらを効果的に活用していく能力を子供たちに付けさせていく事が求められます。また、小学校の高学年で英語教育が始まり、道徳の時間も特別な教科として位置づけられることとなっております。

まだまだ2年先のことを考えることも可能ですが、学校の教育内

容を変えていくのはそんなに簡単な事ではありません。教材の準備だけでなく、教え方や学び方、ひいては褒めどころの検討も必要になって参ります。そこで、浜須賀小学校は平成28年度より「アクティブ・ラーニング」「心の教育(道徳教育)」「インクルーシブ(支援教育)」の推進を目標に、筑波大学大学院の浜田博文教授、横浜国立大学の森本信也教授・高木まさき教授を講師に迎え、授業を教職員同士が吟味し合う授業研究協議会を実施して、新たな教育づくりへの挑戦を開始しております。

授業協議のあと、講師からのレクチャーを教職員一人一人が受け止めます。



算数「水のかさ」の授業公開風景。子供たちも教職員も真剣です。



緑が浜小学校



クラスの団結力の結晶 「緑小祭り」

緑が浜小学校の今年度の学校経営スローガンは、「すべては子どもたちの『心の笑顔』のために」です。学校経営方針に掲げている、子どもたちの主体的に学ぶ力や豊かな感性を育む教育活動の一環として、7月1日(金)に、「緑小祭り」を開催しました。「盛り上げ！楽しめ！熱い緑の子」というスローガンの下、3年生から6年生の各クラスが、手づくりのゲームや科学実験など、様々な工夫を凝らしたお店を出しました。

どうすれば見に来てくれる人に楽しんでもらえるだろう、喜んでもらえるだろうと、クラスの仲間と一生懸命アイデアを出し合いながら準備を行っていたので、それぞれのお店は、各クラスの「団結力の結晶」と言える素晴らしいものばかりでした。当日は、どのクラスのお店も活気に満ちあふれ、子どもたちの素敵な笑顔をたくさん見ることができました。



5年生による科学実験教室の様子



3年生によるゲームパラダイスの様子

浜須賀地区社会福祉協議会

■敬老のついで 9月30日(土) 第31回 浜須賀地区社協主催の

敬老のついでには米寿該当者60名のうち10名が出席、加えて77歳以上の方を含めると計87名の参加により開催しました。

服部市長はじめ行政および地域の団体の代表の方々をお招きして、お祝いの言葉をいただきました。また浜須賀保育園児とのふれあいやフルーツ演奏ほか新日本舞踊の催しもので楽しいひとときを過ごしました。来年も多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■福祉バザー 10月22日(土) 10月22日の会館まつりにおいて地区社協で福祉バザーを開催いたしました。

■ふれあい昼食会 10月7日(金)
菱沼南部、松が丘ハイイツ、2自治会の77歳以上の高齢者43名が参加され、今年度第一回目の「ふれあい昼食会」を開催しました。えにしだ会メンバー手作りの料理に舌鼓を打った後、軽い健康体操

続いてピアノ演奏を堪能しました。

■サロンはますか 10月28日(金)
47名の参加があり新聞紙でちぎり絵を作成したり、昼食後の体操とフラダンスを保育園の先生にご指導いただきました。

次回は11月25日(金)です。

■その他の活動

①サポートはますか
高齢、病気、出産、育児などの理由で日常生活に支障があり、か



敬老のついで

つ援助を必要とする人、遠慮なく下記へご相談ください。

②福祉なんでも相談

市の地域福祉活動の一環として、みなさんの困りごとや悩みごとなど、さまざまな問題についてのご相談を受け付けています。

相談員：地域活動の専門員が担当
相談日時：毎月 第1水曜日 9時30分～12時
電話番号は①②とも 88-5116
(サポートはますか事務所)



サロンはますか

浜須賀地区体育振興会

今年度前半の事業も多くの皆様
に支えられ、無事終えることが出
来ました。

大会を盛り上げて下さった参加
者及び関係者の皆様、有難うござ
いました。

球技大会

8月12日(日)お天気に恵まれ
球技大会を浜須賀小学校で開催しま
した。今年ソフトボールとソフト
バレーで熱戦を繰り広げました。

【結果】

○ソフトボール

優勝—松浜自治会

準優勝—菱沼南部自治会

○ソフトバレーボール

男子 優勝—松浜自治会

準優勝—菱沼海岸緑自治会

女子 優勝—松浜自治会

準優勝—平和町自治会



ソフトバレーボール ソフトボール

納涼祭

7月23日(土)納涼祭を浜須賀
小学校で開催しました。大勢の地
域の方々にお越しいただき、盆踊
りにハワイアン、模擬店、そして
恒例のアイス配布など楽しい夏の
一夜となりました。



みんな輪になって 素敵な演技を
盆踊り 披露

体育祭

10月2日(日)第40回浜須賀地区
体育祭を浜須賀小学校で開催しまし
た。スポーツでさわやかな汗を流し
地域の親睦を深める楽しい一日とな
りました。

【結果】

優勝—浜須賀自治会

準優勝—松浜自治会



へーい！出前一丁 元気いっぱいそれ引け！

浜須賀会館まつり

10月22日(土)浜須賀会館まつ
りに「やまとり」「ヨヨー」「駄
菓子・当てくじ」の模擬店と「展
示」に参加しました。

中学生ボランティアも元気に一
生懸命頑張ってくれました。



ちびっ子に 大人気の
大人気ヨヨー やまとり

茅ヶ崎市主催の大会への参加

次の地区別親善大会の報告は、
次号でさせていただきます。

- ・高南一周駅伝競走大会
平成29年1月9日(月)
- ・ニュースポーツフェスティバル
平成29年2月19日(日)
- ・ファミリーバドミントン大会
平成29年3月5日(日)

浜須賀小学校区青少年育成推進協議会

新体制になって半年が経ち、活
動も半分を無事に終えることがで
きました。

「子ども料理教室」は、毎回
小学生の参加者が多く、一緒に取
り組む浜須賀中学校の家庭部のみ
なさんにとっても、やりがいのあ
る部活動の行事として定着してき
ました。

「子ども大会・ビーチクリーン」
では、浜須賀中学校の生徒にボラ
ンティアを募り小学生と一緒に海
まで歩き、ビーチ清掃のあと綺麗
になった砂浜で「タオル回し」ゲ
ムを行いました。海からの帰り
道、残念ながら雨に降られてしま
い「ゆかりの人物館」には寄れま
せませんでした。



子ども料理教室

お昼は、家庭部の皆さんに手
伝ってもらいカレーを作り、みん
なで食べました。

中学生と小学生が楽しく異年齢
交流ができました。「子ども大会
星を観る会」11月9日(水)・「浜
中OB会」3月11日(土)などの
活動については、次号以降報告さ
せていただきます。

このような活動には、自治会の
皆さま・小学校・中学校の多大な
ご協力をいただきましたことを
深くお礼申し上げます。

今後とも地域の皆さまの温かな
ご支援、ご協力をよろしくお願
い申し上げます。



子ども大会・ビーチクリーン

緑が浜小学校区青少年育成推進協議会

緑が浜小学校区推進協議会では毎年恒例好評の「みどりの子夏まつり&子ども大会&夜の映画会」が8月7日(日)、晴天に恵まれ無事開催する事ができました。

模擬店の焼きそば、かき氷、揚パン等は全て完売しました。

PGTのお父さんたちによって、初めての流しそうめんが行われ、約5mの竹から流れて来るそうめん子どもも大人も楽しんでいました。



流しそうめんを楽しむ子どもたち

子ども大会では子ども会をメインにズバゲッティ、フラパン、エコバック作りに子どもたちで大賑わいでした。

夜の映画会では「インサイドヘッド」を上映し、親子連れがグランドで静かに見入っていました。

地域の方々や先生、中学生ボランティア、保護者ボランティアのご協力もあり滞りなく終了する事ができ、感謝申し上げます。



模擬店の販売を頑張る中学生

浜須賀小学校PTA

28年度浜須賀小学校PTAのこれまでの活動を報告いたします。

5月運動会支援。本年度もすべての来場者にマナーワッペンを着けていただきました。たくさんの方の協力に、様々な形でご協力いただき、無事支援できました事を感謝いたします。5月から6月にかけては、クラス委員で茶話会を企画開催。新しい学年、クラスで保護者の交流をはかり、情報交換を行いました。7月10日(日)「ジュニアライフセービング講習」、24日(日)「夏休み親子

の工作教室」を開催。例年同様多くの方に参加いただき、親子の笑顔あふれるイベントとなりました。広報委員会では、

広報紙「はまゆう」3号まで発行。どれもPTA活動や子ども達の様子を伝える力作となっています。校外委員会では、4月と9月に安全支援活動、8月に通学路点検等を行いました。また、次年度役員候補者の選出が始まり、推薦委員会の活動もいよいよ本格的に

なっています。今後も様々なPTA活動が予定されておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。



広報紙「はまゆう」

浜須賀中学校学級代表者会

年に5回学級代表者会を行っています。

子供たちの見守りも兼ねて学校のお花の水やりを学年代表で行っています。

5月と11月には保護者の方にも協力をお願いしてお花の植え替え

をします。

5月の体育祭では自転車の整備のお手伝い。

10月の合唱大会では受付と自転車の整備、学校に行こう週間では保護者のボランティアの方と受付のお手伝い。

浜須賀会館まつりでは、おでんの準備と販売をします。

中学校の先生から各学年で取り組んでいることや学校行事なども詳しくお話を聞くことが出来ること共に各学年の学級代表と協力して楽しく活動をしています。

浜須賀地区民生委員児童委員協議会

■民生委員児童委員が新体制になります。

今年には民生委員児童委員の改選期にあたり12月から担当の民生委員が替わります。浜須賀地区では現委員が継続する場合と新任委員が担当する場合があります、現在20名の委員は、来期からは21名になります。新任委員は「個人情報」の取り扱い「守秘義務の重要性」「書類の保管」「訪問の心得」などの研修を受け活動を始めます。見守り活動や相談などで気にかかる方は専門機関へつなぎ改善の方向性を探っていきます。

来年は民生委員制度が発足してから100周年を迎えます。益々複雑になっていく社会で少しでも

環境部会

ごみを減量し、資源循環型まちづくりを構築するためには、住民ひとりひとりがごみの分別を徹底していく必要があります。自治会を通じて各家庭に配布された「ご

お役にたつことができよう努めてまいります。

■振り込め詐欺に気をつけましょう

- ・携帯電話の番号が変わった。
- ・上司がお金を取りに行くので渡し。
- ・銀行・コンビニのATMに行っ
- ・市役所や公的機関をのって

会話の中に右のような言葉がある不審な電話がかかってきたらそれは「詐欺」です。おかしいと思ったら冷静になって家族や身近な人、または市役所に電話してください。

みと資源物の分け方・出し方」により分別を確認し、「ごみと資源物の収集カレンダー」を見て排出日を守りましょう。

○ごみの発生抑制・再利用・再生利用の推進（4Rの推進）

1. 要らないものを買わない・断る（Refuse）
2. ごみの排出を抑制する（Reduce）
3. 繰り返し使う（Reuse）
4. 資源として再生利用する（Recycle）

○ごみを取り巻く環境の変化に対応した収集運搬の検討

茅ヶ崎市では、平成28年度から「蛍光灯」と「水銀式体温計」が新規分別品目として加わりました。

排出の際は、購入時の箱もしくは透明・半透明の袋に入れてください。

※蛍光灯と水銀式体温計は他のごみと混ぜないで、必ず単体で排出してください。

○環境と安全に配慮した収集運搬の実施

燃やせないごみで「刃物やガラス」「先のとがっているものやとげのあるも」は「注意」と表示して出してください。

○湘南東ブロックごみ処理広域実施計画

藤沢市、茅ヶ崎市と寒川町では、一般廃棄物処理において広域化を図ることでのメリットを生かしながら循環型社会の推進をめざしており、

- 「1. ダイオキシン類削減対策」
- 「2. 焼却残渣の高度処理」
- 「3. マテリアルリサイクルの推進」
- 「4. 最終処分場の確保対策」
- 「5. 公共事業のコスト削減」

を目的とした実施計画が示されています。

防災部会

浜須賀地区まちのちから 協議会視察研修

■平成28年7月26日(火)

■参加人数 25名(浜須賀地区ま

ちのちから協議会の委員19名、

行政3名、小・中学校校長3名)

■視察場所 千葉県旭市(東日本

大震災で沿岸を襲った巨大津

波により津波被害を受けた市)

■視察の趣旨

(1) 津波に対しての安全地帯は
ない

(2) 津波を理解する

・2波3波と何度も繰り返す襲

・波の高さが想像以上に高くな

り、旭市では第3波により甚大

な津波被害を受けた。

(3) 恐るべき津波の破壊力

・人的被害 地震発生直後、直

ちに避難できれば被害は減ら

せる

・家屋被害 木造住宅は浸水に

よって流され鉄筋の建物は破

壊される

・船舶被害 漁船などは陸上に

打ち上げられる。船自体が巨

大な凶器になる

・火災被害 使用した火やショー

トした電気が津波や揺れで倒

壊した木材に引火

・農地被害 農地に海水が浸入

し、土壌の塩分が濃くなり農

作物ができなくなる

(4) 津波に備える

津波から避難5つのポイント

①地震の揺れの程度で自己判

断しない

②「津波がない」という俗説

を信じない

③避難に車を使用しない

④「遠く」よりも「高く」に

⑤引き潮がなくても津波は襲う

☆津波の予報の種類(3種類)

大津波警報 3mから10m以上

津波警報 1mから2m

津波注意報 0.5m

地震の揺れが1分続いたら津波が来る可能性が高い。揺れの長

さと津波の高さの関係について、
もっと社会に伝わってほしい津波
が来る前に避難できたかもしれま
せん。

世界最大の海と世界最大の大
陸の間にある国です。世界で発生
する大地震の約20%がこの狭い日
本周辺で発生し、世界の活火山の
10%が日本に存在しています。寒
流と暖流、偏西風と偏東風が交差
し、台風は吹き寄せられ竜巻、豪
雨、豪雪、土砂災害、水害、噴火
に見舞われる国です。自然の災害
や社会的災害には行政とともに、
地域、隣人が支え合い助け合って
困難を乗り越えてきた国です。

今、必要なのは自分や家族のた
めの最小共同体です。住んで楽し
い街、隣近所の人達と心が通い合
う、向こう三軒両隣の人達、自分
の事は自分で対応することが原則
ですが、それでも困ったときはお
互いさまで助け合い、支え合うこ
とのできる隣人、住み続けたい街
にするための隣人です。

ゆえに、目の届く範囲の結びつ
きや顔のみえる近隣共同体が機能
してこそ、結果として「自主防災
認識」や「広域共同体」を支える
ことになるのです。

市民のつどい 「市民の声」を市政に届けよう

7月16日、毎年開催している「市民のつどい」が約90名参加のもと、
開催されました。今年も浜須賀会館に置いてある「目安箱」に意見、
質問を投稿していただき、その内容を行政側に提示し、問題の基
本的な事項とその解決について報告していただき、その後意見交換
をする方式で行いました。

まず、服部市長より「茅ヶ崎市市政の現状と今後」についての話が
ありました。「茅ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、
人口減少、高齢化等の問題に対応した施策を実行していくという
説明がありました。

【地域の問題】

今回目安箱に投稿していただいた内容を8つ
のテーマにまとめ、それぞれについて行政側から
回答していただきました。冒頭に浜須賀地区
の海岸浸食についてプロジェクトを使って現
状の写真と数年前はこのあたりまで砂浜があっ
たと会長より話がありました。現在の惨状が良
く理解できました。この海岸の問題の他、道路
電柱、ベンチ、防犯灯、ゴルフ場といった内容
に対して問題解決に取り組んでいることの説明
が関係部課よりありました。その後いろいろ質疑
応答があり茅ヶ崎のブランド力アップのために
このような問題の解決が必要だとの意見が出さ
れました。市民のつどいは年一回の開催ですが、
景観、環境、道路といった大きな問題や防犯灯、
電柱といった身近な問題について、市と住民が
協力しより良い街作りが行われれば茅ヶ崎市の
イメージアップにも繋がることと思います。



海岸浸食の問題も取り上げられました



多くの参加者で会場がいっぱいに